



NIIT

vol.27

新潟工科大学
広報誌

2011.7.31

東日本大震災の被災地支援活動

※ 東日本大震災の被災地支援活動に関する記事は2ページに掲載



CONTENTS

■ NIIT news

- P.2** ・ 東日本大震災の被災地支援 - SINME部の取り組み -
・ 環境推進学生会の活動
- P.3** ・ 平成23年度広域大学知的財産アドバイザー派遣事業に採択
・ 「大学生の就業力育成支援事業」の取り組みについて
- P.4** ・ 平成23年度入学式を挙行
・ 女子学生交流会・新入生歓迎会を開催
- P.5** ・ 工科大祭・科学の祭典を開催
・ 新任教員のお知らせ

■ 告知・イベント情報

- P.6** ・ オープンキャンパス・キャンパス見学会のご案内
・ 入学試験情報 - 大学院工学研究科入学試験 -
- P.7** ・ 入学試験情報 - 推薦入学試験 -
・ 東日本大震災等の被災者への学納金等減免について

■ 部活・サークルFile

- P.8** ・ アーチェリー部

東日本大震災の被災地支援 — SINME部の取り組み —

建築学科の学生を中心に構成される「SINME—新芽—部」が、東日本大震災の被災地支援として、女性用更衣・授乳スペースを製作し、4月8日（金）に宮城県気仙沼市内の避難所となっている体育館に設置しました。また、4月下旬には、寝たきりや車椅子利用者の方のための更衣スペースを製作・提供しました。

この支援活動は、本学卒業生の三戸部智さん（平成21年3月建築学科卒業）が事務局長を務める「中越沖復興支援ネットワーク」経由で要望を受け、「運びやすさ」「丈夫さ」「入手しやすさ」の観点からダンボールを使用して製作しま

した。更衣スペースは、蛇腹型でタンポポの葉に似ており、材料にダンボールを使用していることから“ダンポポ”と名付けました。

また、この支援活動は、学生の社会貢献活動として、テレビ・新聞等のマスコミ各社から多くの取材を受け、同部部長の宮沙織さん（建築学科4年・新潟県立小千谷西高等学校出身）は、製作の経緯や現地の状況などを説明しました。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2011/04/post_384.html



環境推進学生会の活動

環境推進学生会は、組織的な環境活動を推進し、学生の環境意識と知識の向上に寄与することを目的に、大学の環境マネジメントシステムに基づく環境活動への参画や学生に対する啓発と普及を行っています。また、環境保全と改善に関する手法、知識の習得及び開発に関する活動を行っています。

4月6日（水）には、新入生を対象に、環境研修を行いました。研修では、エコアクション21（※）など、環境活動の概要について説明が行われました。また、代表的な活動として、学生ボランティアと協力して大学構内の施設清掃を行う「キャンパススクリーン」、昨年12月に柏崎市に環境活動を提案した「環境シンポジウム」が紹介されました。

4月24日（日）には、新潟市北区の「水の駅ビュー福島潟」で行われた新潟日報社主催の「守り人（もりびと）のつどいin福島潟」に運営スタッフとして参加しました。同学生会のメンバーは、会場設営から福島潟周辺散策の補助などイベント運営のほか、参加者との交流などを行い、環境についての見聞を深めました。

※「エコアクション21」とは、環境省が策定した環境人の取り組みを総合的に進めることができるガイドラインです。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2011/04/post_382.html

http://www.niit.ac.jp/news/2011/04/post_388.html



▲環境研修の様子



▲「守り人のつどいin福島潟」での指導の様子

平成23年度広域大学知的財産アドバイザー派遣事業に採択

特許庁の外郭団体である独立行政法人 工業所有権情報・研修館 (INPIT) が公募した「平成23年度広域大学知的財産アドバイザー派遣事業」に、3月30日(水)付けで、本学を含む新潟県内の私立4大学のコンソーシアムが採択されました。

本学では同事業に合わせて、学内に「知的財産部会(部会長:原利昭副学長)」を設置しました。知的財産部会では、広域大学知的財産アドバイザーやコンソーシアムを組む3大学と連携し、知的財産の管理体制を整備します。

この事業を通じて、本学が持つ研究シーズを今まで以上に社会に還元することが可能となります。

【事業のテーマ】

QOL (Quality of Life) 関連のライフイノベーション創出に資する知的財産管理基盤の強化を目的とした「新潟県大学連携知的財産管理ネットワーク連絡会」(仮称)

《提案機関:新潟薬科大学、新潟工科大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学》

【関連URL】

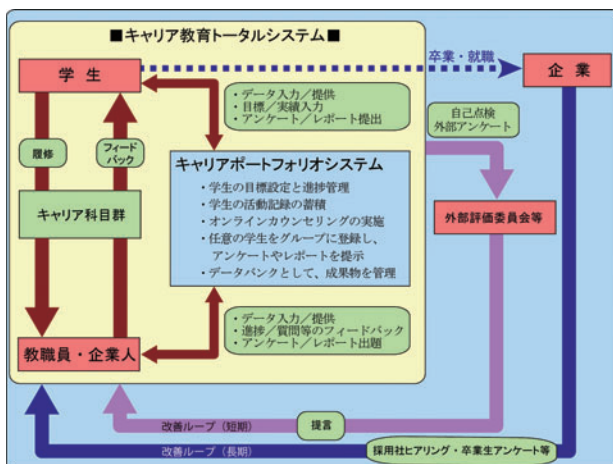
<http://www.niit.ac.jp/news/2011/04/23.html>

「大学生の就業力育成支援事業」の取り組みについて

「大学生の就業力育成支援事業」は、文部科学省が平成22年度から、各大学・短期大学において、学生の社会的・職業的自立が図られるよう、大学の教育改革の取り組みを支援するもので、本学の「実践型カリキュラムによる職業人育成事業」が平成22年9月28日付けで採択されました。全国から441件の申請のうち180大学が採択され、新潟県内の私立大学において単独での採択は本学のみでした。

同事業の取り組みとして、本学では、実践力を備えた職業人を育成することを目的として、以下の5つを実施していきます。

1. キャリア教育トータルシステムを開発・実践・確立
2. NIIT人間力の自己評価
3. キャリアポートフォリオシステムを開発・導入
4. 実践型カリキュラムへ反映(フィードバック)
5. PDCAサイクルの実施



▲事業概要フロー図



▲運動遊具の開発

事業1年目の平成22年度には、キャリア教育トータルシステムの1つとして、PBL実習 (Project Based Learning:課題解決型学習) を試行実施し、運動遊具の開発や海浜清掃ロボットの開発、雪中貯蔵商品の企画立案などを行ったほか、先進取り組み大学及び企業へのベンチマーキングなどを実施しました。

また、平成23年4月1日付けで文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」のホームページを開設しました。

この事業は、平成26年まで5年間の補助事業ですが、この間にシステムを確立し、その後も継続、発展させながら実施していきます。

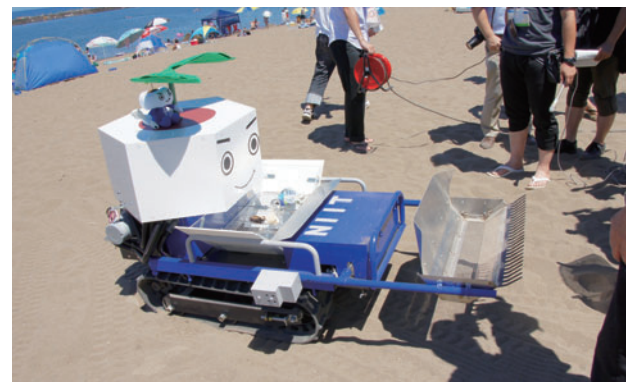
【関連URL】

<http://www.niit.ac.jp/SHUGYO/index.html>

http://www.niit.ac.jp/news/2011/04/post_379.html



▲ホームページ



▲海浜清掃ロボットの開発

平成23年度入学式を挙行

【入学式】

4月5日(火)に本学講堂を会場に第17回工学部・第13回大学院工学研究科入学式が挙行され、学部164名(3年次編入生含む)、大学院工学研究科11名が入学しました。

長谷川彰学長は式辞で「本学の実践を重んずる教育を通じて、技術的能力を存分に伸ばし、専門職業人としての自覚を育むとともに「ものづくり」の側面から社会の発展に寄与するという高い目的意識を培ってください」と新入生を激励しました。

これに対し、新入生を代表して機械制御システム工学科の桑原豊さん(新潟県立長岡工業高等学校出身)が「この4年間、知識や教養を身に付け、仲間とともに、時に協力し、時に競い合うことで己を磨き、夢に向かって邁進したい」と、大学院自然・社会環境システム工学専攻の吉澤梓さん(本学建築学科出身)が「研究テーマを通じて建築に対する意識を高め、自分の持つ力を様々な分野で最大限に発揮したい」とそれぞれ誓いの言葉を述べました。

【新入生歓迎会】

入学式終了後、新入生は柏崎市民プラザに移動し、同じ柏崎市内に立地する新潟産業大学と合同の新入生歓迎会に出席しました。同会は、柏崎商工会議所や両大学の学友会が一体となって、柏崎で学園生活を送る新入生を歓迎しようと毎年開催しているものです。同会では、学生が企画したゲームやプロミュージシャンのライブなどが行われ、大いに盛り上がりました。また、学生が作成した「柏崎攻略ガイドマップ」も配布しました。

本企画にご尽力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

一方、父母は学内で後援会入会式並びに学長父母懇談会、学科別ガイダンスに出席しました。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2011/04/post_383.html



女子学生交流会・新入生歓迎会を開催

毎年恒例となっている女子学生交流会が、4月20日(水)に学生食堂で行われました。

同会は、学科・学年の垣根を越えて、女子学生同士で交流を深めることを目的に学生が企画し、実施しています。今年度は、環境科学科2年の清水麻衣さん(長野県立長野工業高等学校出身)と中西優美子さん(新潟県立柏崎総合高等学校出身)の2人が中心となって企画しました。並べられたオードブルを前に、参加者は女子トークに花を咲かせました。



また、5月11日(水)に、情報電子工学科では、新入生歓迎会としてスポーツ大会が催され、ソフトバレーボールで汗を流し、交流を深めました。同日には環境科学科でも新入生を歓迎する懇親会が行われ、しゃぶしゃぶを箸でつつきながら、携帯電話のアドレス交換をするなど懇親を深めました。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2011/04/post_385.html

http://www.niit.ac.jp/news/2011/05/post_392.html

http://www.niit.ac.jp/news/2011/05/post_393.html



工科大祭・科学の祭典を開催

6月4日(土)に本学会会場に「第16回工科大祭」と「青少年のための科学の祭典2011 柏崎刈羽大会」が行われました。天候にも恵まれ、約2,000人の人出で賑わいました。朝早くから親子連れを中心に大勢の方が訪れ、シンボルタワー前の本部テントでは、工科大祭実行委員が笑顔で来場者を迎えていました。

【工科大祭】

会場のコモンプラザには、各クラブやサークルが多くの模擬店を出店しました。お昼時には長蛇の列ができるほどの飲食系の模擬店もあり、出店者にとってはうれしい悲鳴となったようです。また、新潟産業大学学友会もブースを設置し、産大マスコットキャラクター風船をプレゼントしていました。

模擬店のほかにも、ビンゴ大会、スタンプラリー、各学科による工作教室や作品展、原子力耐震・構造研究センター見学などが行われ、工科大祭を盛り上げました。

午後からは、毎年恒例のお笑いライブが行われ、テレビでも

お馴染みの「ナイツ」さん「ザ・ゴールデンゴールデン」さん「山本高広」さんの3組が、会場を爆笑の渦に巻き込んでいました。

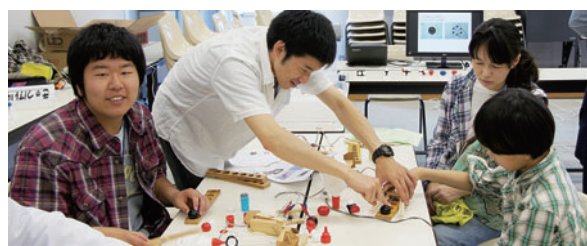
【青少年のための科学の祭典】

同日に南棟1階の講義室をメイン会場に16の実験・体験ブースが出展されました。本学からも情報電子工学科から「くると変身!電磁力」、環境科学科から「分子模型を作ろう!」「温泉卵を作ってみよう」の3ブースを出展し、教職員・学生が子どもたちの指導にあたりました。

なお、同祭典の電力は、本学で実証実験を行っている分散型電源マイクログリッドの1つであるバイオディーゼル燃料(廃食用油から精製した燃料)により発電した電力を使用しました。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2011/06/post_401.html



新任教員のお知らせ

平成23年4月1日(金)付けで、長谷川彰学長、原利昭副学長、環境科学科の一柳孝司教授の3名を新たにお迎えしました。長谷川新学長の下、教職員一丸となって、大学の持続的発展に努めて参ります。



長谷川彰学長

■経歴

東北大学助手、新潟大学助教授、教授、新潟大学学長、新潟県文化振興財団理事長、上越教育大学監事、平成23年4月より現職。仁科記念賞(平成4年)、新潟日報文化賞(平成5年)



原利昭副学長

■経歴

新潟大学講師、助教授、教授、新潟大学副学長、新潟市ビジネス支援センター長、平成23年4月より現職。日本機械学会バイオエンジニアリング部門業績賞(平成8年)、日本機械学会フェロー(平成14年)、日本義肢装具学会第5回土屋和夫論文賞(平成18年)、日本機械学会バイオエンジニアリング部門功績賞(平成22年)



一柳孝司教授

■経歴

新潟薬科大学助手、助教授、准教授、香川大学准教授、平成23年4月より現職。1st Joint Meeting of the Society for Free Radical Research, Travel Award(平成13年)、3rd Joint Meeting of the Society for Free Radical Research, Young Investigator Award(平成17年)、The Kadota Fund International Forum 2006, Young Investigator Award(平成18年)、第14回日本フードファクター学会学術集会 Young Investigator Award(平成21年)

告知・イベント情報

オープンキャンパス・キャンパス見学会のご案内

以下の日程で、オープンキャンパス、キャンパス見学会を実施します。
今年度から新たに、大学紹介、キャンパス見学、個別相談のみの
キャンパス見学会も実施します。

大学進学を考えている、悩んでいる高校生はもちろんのこと、
オープンキャンパスでは、保護者向けガイダンスも実施しますので、
保護者の方も、ぜひご参加ください。

■オープンキャンパス

開催日:8月27日(土)

時 間:10:30~15:30

内 容:大学紹介、入試ガイダンス、キャンパス見学、学科体験、
学食体験、個別相談、保護者向けガイダンス など

■キャンパス見学会

開催日:9月25日(日)

時 間:13:30~15:30

内 容:大学紹介、キャンパス見学、研究室紹介、個別相談 など

■申込方法

電話、FAX、電子メール等によりお申し込みください。

※大学ホームページ、携帯電話用サイトからも直接お申し込み
できます。



新潟工科大学 入試広報課

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719
☎0120-8188-40 FAX:0257-22-8226
E-Mail:nyuushi@adm.niit.ac.jp

お申し込み・
お問い合わせ先

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2011/03/post_365.html

入学試験情報 —大学院工学研究科入学試験—

大学院工学研究科生産開発工学専攻(博士前期・後期課程)では、入学試験(1次募集)を行います。

【選抜方法】

- (1)一般入学試験
筆記試験、面接試験及び書類を総合して選抜
- (2)社会人特別選抜入学試験
口述試験、面接試験及び書類を総合して選抜
- (3)外国人特別選抜入学試験
口述試験、面接試験及び書類を総合して選抜

【選抜日程】

- ・出願期間:8月18日(木)~26日(金)
- ・試 験 日:9月 2日(金)
- ・合格発表:9月 8日(木)

※本学卒業生及び新潟工科大学産学交流会会員企業からの
入学者は、入学金が免除されるほか、学納金が半額となり
ます。

※入学試験等の詳細については本学ホームページ、学生募
集要項等でご確認ください。

新潟工科大学 入試広報課

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719
☎0120-8188-40
FAX:0257-22-8226
E-Mail:nyuushi@adm.niit.ac.jp

お問い合わせ先

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/entrance/recruit/gaiyo_daigakuin.html

入学試験情報 ー推薦入学試験ー

推薦入学試験では、高等学校における評定平均値を出願資格に設定し、どのように学習に取り組んできたかを面接及び出願書類により確認します。また、学習以外に資格の取得を目指すことや、課外活動へ積極的に参加していることなども併せて聴取し、審査・評価します。

【出願資格】

(1) 指定校制

- 本学の指定校になっていること
- 出身学校長の推薦を受け、本学を専願する者
- 評定平均値が3.5以上の者
- ※ 普通科は、3教科(数学、理科、外国語)の評定平均値の平均、普通科以外は、全履修教科の全体の評定平均値

(2) 公募制

- 出身学校長の推薦を受けた者
- 評定平均値が3.0以上の者
- ※ 普通科は、3教科(数学、理科、外国語)の評定平均値の平均、普通科以外は、全履修教科の全体の評定平均値

【選抜方法】

- (1) 指定校制 面接(志望動機を中心に質問)及び出願書類を総合して選抜
- (2) 公募制 面接(志望理由書の記載内容を中心に質問)70点、出願書類30点の合計100点満点で選抜

【選抜日程】

★ 指定校制、公募制推薦A日程★

- ・ 出願期間：10月17日(月)～10月26日(水)
- ・ 試験日：11月 5日(土)
- ・ 合格発表：11月11日(金)

★ 公募制推薦B日程★

- ・ 出願期間：11月21日(月)～11月28日(月)
- ・ 試験日：12月 3日(土)
- ・ 合格発表：12月 8日(木)

※ 出願資格等の詳細については本学ホームページ、入試ガイド等でご確認ください。

東日本大震災等の被災者への学納金等減免について

■ 対象者

本制度は本学入学志願者のうち、次のいずれかによる被災者等を対象者とします。

- ・ 東日本大震災による被災者(原発事故による避難者含む)
- ・ 長野県北部地震による被災者

■ 減免区分

減免区分については、「居宅」及び「家計収入」への被災状況により、下表のとおり適用します。

① 居宅の損壊

- A：居宅の全壊、全焼、流失、大規模半壊、又は左記に準ずる被災 C：居宅の一部損壊、床上浸水、又は左記に準ずる被災
- B：居宅の半壊、半焼、又は左記に準ずる被災 D：被災程度不問

② 家計状況の変化

- A：①災害により学納金等支弁者が死亡又は高度な身体の機能障害等によって、従来の家計収入が全く絶たれた場合
- ②専業農家で自家の田畑の3分の2以上が流失等の被害にあうか、又は収穫が皆無になった場合
- ③その他上記に準ずる場合
- B：①災害により学納金等支弁者が死亡又は高度な身体の機能障害等によって、従来の家計収入が半減した場合
- ②専業農家で自家の田畑の2分の1以上が流失等の被害にあうか、又は収穫が半減した場合
- ③その他上記に準ずる場合

【減免区分一覧】

家計	居宅	A	B	C	D
A	S	S-	A	A	
B	S-	A	B	B	
-	A	A	C	D	

【減免内容・期間】

減免区分	減免内容	減免期間
S	入学検定料(3万円)免除、入学金(20万円)免除、学納金(128万円)免除	4年間
S-	入学検定料(3万円)免除、入学金(20万円)免除、学納金(128万円)免除	2年間
A～D	入学検定料(3万円)免除、入学金(最大20万円)免除、学納金(最大64万円)免除	1年間

【初年度学納金の比較】

(単位:円)

区 分	(通常)	S	S-	A	B	C	D
入 学 金	200,000	0	0	0	100,000	200,000	200,000
授 業 料	880,000	0	0	440,000	660,000	830,000	880,000
実験実習費	150,000	0	0	75,000	112,500	150,000	150,000
施設設備費	250,000	0	0	125,000	187,500	250,000	250,000
学納金合計	1,480,000	0	0	640,000	1,060,000	1,430,000	1,480,000

※ 減免期間は、Sは4年間、S-は2年間、A～Dは1年間です。

■ 手続方法

本制度に係る手続方法は、「学生募集要項」及び「入学手続要項」に記載します。手続にあたっては、同要項を確認の上、申請してください。

お問い合わせ先



新潟工科大学 入試広報課

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719
☎0120-8188-40 FAX:0257-22-8226
E-Mail:nyuushi@adm.niit.ac.jp

部活・サークル File

vol. 5

アーチェリー部

部長:野口 愛子

【機械制御システム工学科3年 新潟県立三条東高等学校出身】

部員: 9名

(1年生: 0名、2年生: 4名、3年生: 3名、4年生: 2名)



アーチェリーは、生涯スポーツの一つとして、年齢や性別を問わず、体力に自信のない人でも参加できるスポーツです。

アーチェリー部の現在の部員は、ほとんどが大学からアーチェリーを始めたばかりで、先輩が後輩に教えながら練習しています。練習距離は、その時期の大会種目によって変わりますが、夏は主に70m、春・秋は50m、30mの距離で練習を行います。他の運動部に比べると大会が多く、新潟県アーチェリー協会主催の大会が月に1、2回開催され、積極的に参加しています。大会によって射場の環境や緊張感が違い、練習の成果が結果に繋がらないこともしばしばあります。「大会こそが最高の練習!」と上達を目指して頑張っています。また、毎年9月には長野県の本島平で合宿を行っています。



アーチェリーの醍醐味と言えば、矢が的の中心に当たった時の快感です。6本全ての矢を中心に入れるのは大変難しいですが、的に当たるようになると、どんどん

楽しくなります。また、弓は扱い方によっては凶器にもなります(毎年1、2件の事故が報告されています)ので、安全に楽しく活動するために一人ひとりが安全に気を付け、周囲の人を思いやって活動することが必要です。アーチェリー部では、「一人では練習しない」「撃ち始めや矢取りは安全確認し皆が一緒に行く」などルールを守って活動しています。

アーチェリーは、まだまだマイナー競技ですので、工科大祭では、「アーチェリー体験」を出店し、小さなお子さんから大人まで、多くの人に体験してもらいました。体験を通して、理解を深めてもらうとともに、新潟県内でも活発なスポーツになってくれることを願っています。

現在、新規メンバーを募集しています。月、水、金曜日の晴れの日、4時限終了後にグラウンドで練習していますので、気軽に見学に来てください。練習前は、体育館裏のクラブ室7にいますので、そちらに来ていただいても構いません。



【2011年度大会結果】

■第2回ハードオフ杯選手権アーチェリー大会

30m・30m女子の部 準優勝 野口 愛子

30m・30m男子の部 3位 長谷川 善行

【情報電子工学科3年 新潟県立新潟北高等学校】

